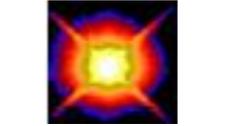
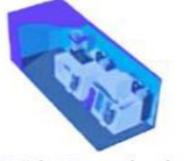


| 整理番号      | 発刊日        | Title  | タイトル訳   | 出典  | 所見等   | 情報提供者 |
|-----------|------------|--|---|---|---|-------|
| 2024 -190 | 2024/11/1  | Fat Leonard Still Weighs on WestPac Logistics  | 【米海軍汚職関連】<br>ファット・レナード事件は今も西太平洋のロジスティクスに重くのしかかる                     | Proceedings<br>2024/11/1                  | <br>2013年に発覚した西太平洋における米海軍の一大汚職事件(いわゆるファット・レナード事件)の影響は、今も米海軍の後方支援に大きな足かせとなっている、という論文です。日本でも、防衛調達に関する不祥事が過去に色々ありましたが、そのたびに再発防止のための制度が作られ、現場はがんじがらめになって(部隊運用にも支障をきたして)いるというのと、同じ図式の様です。プロシーディングス誌11月号から。下線は訳者。  | 岩崎洋一  |
| 2024 -191 | 2024/11/26 | U.S. Carrier Makes First Malaysian Port Call Since Leonard Francis Arrest                    | 【米海軍汚職関連】<br>レナード・フランシスが逮捕されて以降初めて米空母がマレーシアに寄港                      | USNI News<br>2024/11/26                   | <br>ファット・レナード事件のその後の現地からの報告です。事件の温床となったポートクランのクルーズ・ターミナルは、過去からいろいろの変遷を経て今に至っているのが分かります。事件後12年ぶりに米空母が入港したということです。   | 岩崎洋一  |
| 2024 -192 | 2024/11/5  | French, UK naval chiefs urge dramatic changes in warship design                              | 【英仏海軍首脳艦船設計への要望】<br>英、仏の海軍司令官が軍艦設計の劇的な変更を督促                         | Defense News<br>2024/11/5                 | <br>Euro Navallにおいて、英仏の両海軍作戦長官が軍艦設計における劇的な変更に関し、意見を開陳しています。海軍は比較的「保守的」と言われる中、両国海軍大將が述べる内容は非常に重いものです。長期に亘り使用する軍艦が、実戦の経験で得られたあらゆる脅威に対応するため「理想と現実の乖離(乗員数はやはり必要だ)」という点を、著しい就業人口減少の日本で軍艦設計にどう反映させられるのか、気になるところです。 | 山越博道  |
| 2024 -193 | 1952/9/1   | I Led the Air Attack on Pearl Harbor   | 【真珠湾攻撃関連】<br>私は真珠湾攻撃を指揮した   | Proceedings<br>1952/9/1                   | <br>今から83年前の真珠湾攻撃で、総飛行隊長を務めた淵田美津雄中佐の血沸き肉躍る手記です。プロシーディングス誌1952年から。  | 岩崎洋一  |
| 2024 -194 | 2024/12/10 | Satellite Photos Show Russian Navy Exodus From Syria, Syrian Missile Boats Sunk at Pier      | 【シリア情勢関連】<br>衛星写真によれば、ロシア海軍がシリアから撤退、シリアのミサイル艇は棧橋で撃沈                 | USNI News<br>2024/12/10                   | <br>ロシア軍の地中海における拠点が失われるとすれば、ウクライナ侵攻は高きついたこととなります。   | 岩崎洋一  |
| 2024 -195 | 1965/4/1   | The Mothball Fleet (Pictorial)   | 【艦船保存手法関連】<br>モスボール艦隊   | Proceedings<br>1965/4/1                   | <br>かなり古い記事ですが、米海軍艦艇のモスボール手法がよくわかる記述になっています。原文では記事とともに写真が掲載されていたようです。海自艦艇でも予算不足時代はモスボールが検討されたことはありましたが、これからは人員不足が原因でモスボールが検討されるかもしれません。なお、現在米海軍のモスボール艦隊は5段階に分類されているようです。                                   | 佐々木司  |
| 2024 -196 | 2024/12/11 | US successfully conducts ballistic missile intercept test from Guam, Pentagon says           | 【米弾道弾迎撃実験成功】<br>グアム島での弾道ミサイル迎撃実験に成功、と米国防総省が発表                       | Reuters<br>2024/12/11                     | <br>イージス・グアム・システムでSM-3ブロックIIAを発射して、中距離弾道ミサイルの迎撃に成功したというニュースです。   | 岩崎洋一  |
| 2024 -197 | 2024/12/12 | MDA Intercepts Ballistic Missile Target in Test of Guam Defenses, Aussies Fire Tomahawk      | 【米豪ミサイル実験情報】<br>米ミサイル防衛局(MDA)がグアム防衛の試験で弾道ミサイル標的を撃墜、オーストラリアはトマホークを発射 | USNI News<br>2024/12/12                   | <br>先日のグアムBMDでは日米のイージス艦、「はぐろ」と「ミリウス」が連携して訓練を行ったということです。オーストラリア海軍がトマホーク発射を行ったというニュースも合わせて、USNIニュースから。下線は訳者。   | 岩崎洋一  |
| 2024 -198 | 2024/12/10 | China Develops a Near-Light-Speed Radar System to Counter Submarine Stealth.                 | 【中国潜水艦探知技術】<br>中国がステルス潜水艦用の近光速レーダー・システムを開発                          | Naval News Navy<br>2024/12/10             | <br>真偽の程は分かりませんが、長さ100m、小型版で30mの送信機を設置できる艦船はどの程度あるのでしょうか。  | 川原梅三郎 |
| 2024 -199 | 2024/12/13 | NATO Secretary General implores allies to shift to wartime mindset and spend more on defence | 【NATO加盟国防衛費関連】<br>NATO事務総長、同盟国に戦時思考への転換と防衛費増額を促す                    | European Security & Defence<br>2024/12/13 | <br>欧州はウクライナの戦争を深刻に考えています。戦時体制となるのか。   | 川原梅三郎 |
| 2024 -200 | 2024/12/1  | Military and Security Developments Involving the People's Republic of China 2024             | 【中国軍事力分析】<br>中国の軍事力および安全保障の動向2024 抄訳(目次、序文、要旨)                      | U.S. Department of Defense<br>2024/4/9    | <br>Military and Security Developments Involving the People's Republic of China 2024 の要旨です。  | 岩崎洋一  |

| 整理番号      | 発刊日        | Title   | タイトル訳   | 出典                        | 所見等  | 情報提供者 |
|-----------|------------|---|---|---------------------------|--|-------|
| 2024 -201 | 2024/12/24 | DARPA Completes Automated Fueling-At-Sea Test For USV Program | <b>【米USV試験関連】</b><br>DARPA、USVプログラムの自動洋上給油海上試験を完了           | Naval News<br>2024/12/24  |  USVの洋上給油を無人で実施し、更にUSVは、1年毎のメンテナンス期間の間、人が居なくても運用できるという記事です。記事と写真からは、具体的な内容が分かりませんが、要注目です。   | 川原梅三郎 |
| 2024 -202 | 2024/12/9  | The Type 26 Frigate - more than just a submarine hunter       | <b>【英Type 26搭載物件関連】</b><br>Type 26 フリゲート艦 - 単なる潜水艦ハンター以上の存在 | Navy Lookout<br>2024/12/9 | <br>3D Print Factory-in-a-box英国で建造中のType 26に搭載する持続的運用展開システム (PODS)構想の概要を示す記事です。これは、本艦の多目的性能の根幹を成すもので、各種の機能が検討されている模様です。米海軍LCSのミッション・モジュールと同様な発想ですが、その教訓を得て、PODSの開発は、搭載艦の建造と同時期に進められ、定型コンテナに収まる形態になっています。Type 26は、PODSの搭載替えも自艦で実施できる機能を有しています。しかし、意外にもType 26の設計は、空間・重量的な余裕は余り多くはないようです。非常にユニークな取組みであり、動向に注視していきたいと思えます。 | 本山泰之  |